

平成 29 年 10 月 31 日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目 1 2 番 5 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(東証JASDAQ: 4316)

問合せ先: 取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	500	▲40	▲40	▲40	▲12 円 46 銭
今回修正予想 (B)	604	▲22	▲22	▲22	▲6 円 95 銭
増減額 (B - A)	104	18	18	18	—
増減率 (%)	20.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	462	▲96	▲95	▲95	▲29 円 69 銭

2. 修正理由

現時点における決算集計並びに事業進捗状況等を踏まえて、第 2 四半期累計期間 (以下「第 2 四半期末」) の連結業績予想を修正するものであります。

当第 2 四半期連結累計期間 (以下「中間期」) におきましては、主にワイヤレス・イノベーション事業分野において受注・売上が予定以上に進捗し、一部大型案件を中心に原価率低減の成果も得ましたが、ソリューション事業分野における損失を補うには至りませんでした。

第 3 四半期以降は、引き続き各事業分野での受注・売上の獲得、特にソリューション事業分野における o2o2o (OnAir to Online to Offline) 事業の拡大に注力し、成果を上げるべく取り組んでまいります。

各事業分野の状況は以下の通りです。

なお、各事業分野のセグメント損益は、全社費用 46 百万円 (見込み) (前年同期実績 46 百万円) を含まない額であります。

ナビゲーション事業分野については、えきねっと等への時刻表・経路探索技術の提供や交通費精算システム「transit manager」等の運用案件が予定通り推移したものの、前期、初期開発に伴う売上を計上した transit manager が運用案件に移行したことにより減収増益となる見込みです。売上高は 73 百万円 (前年同期実績 87

百万円)、セグメント利益は15百万円(前年同期実績14百万円)の見込みです。

ワイヤレス・イノベーション事業分野については、保守運用案件については予定通り進捗し、新規構築案件・開発案件についても予定以上に推移したことから増収となり、一部大型案件を中心に原価率低減の成果を得て増益となりました。売上高は414百万円(前年同期実績296百万円)、セグメント利益は73百万円(前年同期実績7百万円)となる見込みです。

ソリューション事業分野については、全般的に受注・売上に苦心するなか新規受託開発案件の増加により増収となりましたが、大幅な不採算案件の発生により、前期より取り組んでいる事業整理・費用圧縮による赤字の削減が限定的となりました。売上高は116百万円(前年同期実績77百万円)、セグメント損失は66百万円(前年同期実績72百万円)の見込みです。

3. 今後の見通し

通期の業績予想につきましては、今回見直しは行っておりませんが、今後、変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成30年3月期第2四半期決算短信につきましては、平成29年11月2日に発表する予定です。

以 上